

2019年4月1日

神奈川県放射線友の会アンケート調査 集計報告

今回のアンケートにご協力いただき、有り難うございました。

本会の活動も、発足以来11年が経過し12年目を迎え、全ての会員より「神奈川放友会の活動について」ご意見を頂くアンケートを実施いたしました。

10年程前までは60歳の定年でしたが、現在では、再任用で65歳まで働けるようになりました。国は今、70歳まで働ける改革を行っています。元気であれば何歳になっても働ける環境は必要ですが、高齢になることにより、コミュニケーションの場が徐々に少なくなってゆく傾向にあります。しかし、若い時に同職として共に働いていた仲間となれば、定年後の生活の中でもコミュニケーションを共有する話題があるのではないのでしょうか。

「神奈川放友会」は、この様な高齢化社会の中で、コミュニケーションの場としての存在意義を自負して活動してきました。

今回のアンケートが、会の活動に意義ある回答・意見でありましたことを感謝いたします。

皆さんからのご意見をまとめて記載いたしました。意見に対して執行部にてその内容を分析検討させて頂き、執行部の考えを記載いたしました。

執行部の考え方については、総会にて論議して頂き、「神奈川放友会」の対応を改めて検討したいと考えています。

是非総会に出席して頂き、意見交換をいたしましょう。

返送されたアンケートの集計と執行部の考えを列記いたします。

調査対象者：63名 回答者：27名 回収率：42.9%

会員全員からの回答を希望していたので、回収率43%は残念に思います。しかし、回答された会員からは会の活動に多くの意義ある回答・意見をいただき、感謝いたします。

会員とより一層のコミュニケーションを取れるよう努力します。

1. 神奈川放友会 Newsletter について（○印をつけてください。）

	① 読んでいる	② 読んでいない
件数	<u>27</u>	<u> </u>

Newsletter への意見

- ・何時も楽しみにして拝見しています。是非、多くの会員の投稿などや情報を掲載してください。
- ・かなり自分の心のささえになっています。
- ・毎回楽しみにしております。皆様の足跡と共に新たなコミュニケーションの場としての会での親睦以上の視点での参加意識には敬服しております。放射線管理という軸足の上に、経験と知見の延長線での新たな課題や問題点の提起は重要であり幅広い方々にももっと活動の意義を発信する必要性を感じます。
- ・本会活動内容の報告記事に関しては重点を置いて読んでいるが、会員の寄稿文章は楽しく読ませて貰っている。ポケ防止の観点からも作文は良い手段であると思う。多くの会員に原稿依頼をお願いして欲しいと思う。これからの人生参考になる生き方を知る良い機会となると思われる。
- ・毎号興味深く読んでおります。
- ・丁度よいページ数と内容に苦慮されていることが伺えます。

- ・毎回の記事が楽しみだ。
- ・余り専門的にならない様に注意されたい。
- ・放射線以外の記事が多い方が良さそうです。
- ・会員に順番で近況や自由なテーマで原稿をお願いする。

設問 1. Newsletter についての執行部の見解

回答された全員が読まれていることに安堵し、多数のご意見をいただき、感謝します。

会としては放射線に関する記事を毎号掲載していますが、あまり専門的にならないように多分野のバラエティーに富んだ編集を心掛けます。会員の投稿原稿を掲載していますので、会員が投稿しやすい方法や対策を講じていきます。

近況報告や趣味や興味を持ったことなどテーマはなんでも結構です。原稿は郵送でもお受けします。

積極的な投稿をお願いします。

2. 「神奈川県放射線友の会」のホームページ (HP) について

	① 見ている	② 見ていない
件数	<u>18</u>	<u>8</u>

見ていない方の感想

- ・PCを持っていない。
- ・HPがあることを知らなかった。
- ・HPの存在を知らなかった。
- ・まだ開設して無いから。
- ・Newsletterと同じ内容だと思っている。(見ていない)

その他の意見

- ・とても素晴らしいHPが出来ているので、ぜひ多くの方に見ていただきたいと思います。
- ・広報の意義は大きいと思います。
- ・よく見えています。知人等にHPを紹介し、PRしています。
- ・だんだん充実してきた。良くアクセスしている。
- ・対応できる会員にはHP上で、意見を投稿できるようにする。
- ・ホームページの管理と更新作業、感謝いたしております。以前から思っていた事ですが、記事を読んだ感想、本会活動に関する意見等を、ホームページ上に投稿できる、コメント欄機能を追加されてはいかがでしょうか。
- ・ブログ紹介等に積極的参加ください。
- ・ホームページの存在を知らませんでした。
- ・度々のリニューアルで大変興味の沸く豊富な情報に感謝しています。

設問 2. HP についての執行部の見解

ホームページ (HP) を知らない会員がいましたので、PRに努力します。Newsletterの内容と同じと思われる会員もいますので、掲載内容を検討します。「意見投稿」の機能はセキュリティ管理の問題もあり、検討中です。現在、「意見投稿」はメールや郵便物でお願いします。

kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp

3. 来年度の活動案について （興味ある項目に○印をしてください。）

- | | | | |
|--------------|-----------|---------------|------|
| ① 東京競馬場観戦・参戦 | 5月12日（日） | ヴィクトリアマイル（G1） | 企画予定 |
| | ・参加したい | ・参加しない | |
| 件数 | <u>10</u> | <u>12</u> | |
-
- | | | | |
|---------------------------------|-----------|-----------|----------|
| ② JAXA 宇宙科学研究所と相模原市立博物館見学（相模原市） | | | |
| | ・参加したい | ・家族の参加を希望 | ・参加しない |
| 件数 | <u>16</u> | <u>2</u> | <u>5</u> |
-
- | | | | |
|--|-----------|-----------|----------|
| ③ 東京電力横浜火力発電所見学（1年中採れる「いちご」試食あり）（横浜市大黒町） | | | |
| | ・参加したい | ・家族の参加を希望 | ・参加しない |
| 件数 | <u>16</u> | <u>1</u> | <u>6</u> |
-
- | | | | |
|-------------------------------|-----------|-----------|--|
| ④ 東京電力柏崎・菟羽原子力発電所見学と近隣散策 1泊の旅 | | | |
| | ・参加したい | ・参加しない | |
| 件数 | <u>11</u> | <u>11</u> | |
-
- | | | | |
|--|-----------|----------|--|
| ⑤ 「放談会」会員の近況報告と身近な話題を語り合う憩いの館年間2回程度を開催予定 | | | |
| | ・参加したい | ・参加しない | |
| 件数 | <u>16</u> | <u>6</u> | |

「具体的活動・放談会等について」のご意見 （期待する内容等）

諸事業について

- ・電力事情が厳しい中、火力に頼っている現実を知りながらも、実態を見るという経験はありません。老朽化対策はどうなっているのか、将来的な電力事情はどうなっているのか、やはり自分の目で確認したいものです。余談ですが、先日宮ヶ瀬ダムに行ってきました。先人の構想の大きさに感銘を受けた次第です。
- ・柏崎菟羽原子力発電所はぜひ参加したいと思います。ほかの事業も大変興味ありますが、日程等により参加は難しいかもしれません。
- ・JAXA 宇宙科学研究所、東電横浜火力発電所見学とうは孫との接点を後押しする形で夏休み中に行って良いのではないのでしょうか。
- ・壮大な宇宙という世界。TV等では知りつつも、その大きさ、奥深さ、そして日本の現在の技術力等、見てみたいですね。
- ・いつも興味のそそられる企画で日程が合えばぜひ参加したいと思います。

放談会について

- ・出来るだけ会員の順番制を採用し、気楽な自由な話題を紹介する方式が良い。
- ・例えば、趣味・旅行・パソコン・スマートホン・料理・文芸・・・等々参加者が気楽に話題提供できる内容で、続けることを期待したい。最初は指名制で良いのでは。おいおい、話題提供者の順番が出来ると思う。技師会会議室などを利用する等、10～20人程度で十分ですので、続けることです。
- ・放談会テーマ「私がやっている健康維持の方法」「興味を持って情報収集や勉強している事」「私の特技・趣味」。
- ・「放友会」会員の近況報告と身近な話題を語り合う憩いの館、年2回程度参加したい。（頻度にはこだわらず）自分は春の会合しか参加できていませんが、もっと共通の職域での先輩の方々の近況や定年後だからこそ気が付いている現在の課題等お聞かせ願いたく思います。
- ・年齢を重ねると遠くに出かけるのが億劫になってしまう。どうしても身内や近場に住む友人との歓談等の回数が多くなってきている様に感じる。若かりし頃からの、また、現役時代の友人との絆は大事にしたいと思う気持ちは強い・・・。神奈川放射線友の会活動も大事であるが、無理のない負担のない企画を考えて欲しい。放談会は年2回開催されてはと思う。理事会後の歓談会今後も参加したいと

思っている。お酒はほどほどに・・・

- ・前体験のどうゆう人だった方が、「今、何処で何に対してどんな内容の活動をしているか…等を聞きたい。
- ・放談会での活動の中で、3ヶ月に1回は飲み会を催す。酒席では忌憚のない話しが出る。そして仲間としての横の繋がりができる。

神奈川放友会の評価

- ・従来のやり方で良いと思う。
- ・活動内容としては、どこに出しても恥ずかしくない企画が多いと感じています。
- ・役員の方々ご苦勞様です、益々のご発展をお祈り申し上げます。
- ・医療界では放射線技師の立場が昔と違って弱くなっています。OT, PT, 検査技師その他などに負けています。皆さんの力で上になることを望みます。
- ・盛り沢山の企画に感謝しています。興味津々ですが、日程がなかなか取得できないので、申し訳なく思っています。
- ・仕事、子育て、勉強会、認定試験等により毎日に余裕がありません。
- ・時間的余裕がありません。参加できず申し訳ありません。
- ・今回のアンケートの結果を見て再考する。

設問 3. 来年度の活動案についての執行部の見解

来年度の活動は総会での承認後、決定しますが、アンケート結果から活動計画の予定を示します。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ① 東京競馬観戦 | 実施します。 |
| ② JAXA 見学 | 夏休み中に実施できるよう検討します。 |
| ③ 東電横浜火力発電所見学 | 実施の予定で検討します。 |
| ④ 東電刈羽原発見学 | 実施の予定で検討します。 |
| ⑤ 放談会 | 総会時に実施します。2回目は6月に企画します。 |

4. 仲間を増やすための広報等についてご提案ください。

神奈川県放射線技師会との関わりについて

- ・KART に投稿する方法はいかがですか。地区放射線技師会にて PR する。還暦を過ぎたリストを作成し、神奈川放友会を宣伝する。
- ・退職年齢の神奈放技会員に放友会入会を案内する。
- ・一般的に認知力が足りないとは思いますが HP 立上げ等、一步一步力量を培ってきていると思います。神奈川県放射線技師会での様々な会合やイベントの場で、もっと積極的な広報を行う時期に来ていると思います。同時に現状の診療放射線技師の立ち位置や、評価について卒業生だからこそ俯瞰できる部分もあり、何らかの提言等を行える機能を有してもいいのではないかと考えております。定年後にこだわらず、幅広い仲間を集積できる会の在り方も模索してほしいと思います。
- ・県技師会の下承を得て、技師会誌の片隅にでも本会の宣伝記事を載せていただくのはいかがでしょうか。
- ・神奈川県放射線技師会への入会員も減っている中、任意団体への加入が得策か。地方技師会は日本放射線技師会と対で強制的に入れるという方法を使っています。それを姑息な方法とみるかどうかですが、何らかの手を打たないとじり貧かと。
- ・会の設立から10年経過しているので「放友会」の存在を知らない方も多いのかと思います。技師会のイベントなどで入会活動を試みるのはいかがでしょうか。技師会と共同できるイベントを提案してみる。
- ・神奈川県放射線技師会誌に、会員募集コーナーをせっちできないかな？とっております。また、気

軽に参加できるシニアネットワークの方々のお話など聞く場が、あれば活用できないものかどうか心当たりの会員が、いらっしゃれば、ご意見を願いたいです。

その他の意見

- ・ Newsletter にチラシ（入会案内等）を同封する。
- ・ Newsletter の最終ページ辺りにでも「広報欄」を設けて会員活動の広報スペースに活用させては、
- ・ 各病院等の退職者を中心に会の PR を行う。
- ・ 放友会の名簿を神奈川県技師会のように作っただけでいいのでしょうか。
- ・ 他の会派との交流を試みるのも一つの方法かと思いますが如何ですか。
- ・ どうもよい案が思い付きません。難しい問題です。
- ・ 私が神奈川県放友会に入会した時の事を思い出すと・・・定年退職前平成 22 年には会員となっていた様に記憶する。私の場合、核仲間が神奈川県放友会の役員で活躍していた事を知っていたからである。つまり、友人としてつながり、友人の紹介が大事であると思う。また夫婦で参加できるイベント企画があり大変楽しかった。毎年賀状にて後輩技師に対し神奈川県放友会の活動を通して楽しんでる事を伝えている。定年を控える後輩技師に対する会員各位からの本会への勧誘も一つの方法であると思う。

設問 4. 仲間を増やす方法についての執行部の見解

- ① 地区技師会とのパイプを太くしたい。
- ② KART への投稿を検討する。
- ③ 各理事の個人的 PR に期待する。(例えば、年賀状等での PR をお願いする)
- ④ Newsletter・HP の充実により、神奈川県放友会の活動が理解されると信じている。その努力に力を入れ、積極的な会員確保はせず、自然体で放友会の活動を PR する方向に専念したい。
- ⑤ 定年後の放射線技師の活動の場を、神奈川県放射線技師会と意見交換する必要があると考えており、機会を模索しています。
- ⑥ 魅力のある「神奈川県放友会」にすることを第一に考え、多くの人達に対し、みなさんからのご意見をじっくり検討させ展開させることを考えます。

5. これまで（10 年）の「神奈川県放射線友の会の活動評価」について、何でも構いません。ご意見をお書きください。

神奈川県放射線技師会との関わり

- ・ 神奈川県放射線技師会の先輩として若い人たちに指導してください。もっと放友会同士の連絡をしてください。
- ・ 県放射線技師会との協力、企画が少ないようです？ 放友会の代表として県技師会の理事として出るべきだと思います？
- ・ 現役技師との接点を技師会（地域技師会）以外で組もうと思うと厳しいのではと思います。上記を合同での会なら若い人たちとも接点が増え良いのではないのでしょうか？
- ・ 何とか KART とタイアップして進めては如何でしょうか？
- ・ 「福島原発と富岡町訪問」を市民公開として行う。KART 会員にも広報して頂く。

その他の意見

- ・ 「食と放射線」の出版等社会活動に頑張っていることは評価できる。これからも継続してください。「自分史等の出版物作成などに支援する」ことなどを PR してはどうでしょうか。
- ・ 最近の退職者を対象とした（平日に実施する）ことで良いと思う。（現役の人達は技師会がおこなっているの）
- ・ 活動はあったが、活動する会員が限られていた。
- ・ 親睦の場にてっしてきた感は歪めず（決して悪い事ではありませんので誤解なく）しかしそのことより、人と人との会の結束が築かれたと思います。（素晴らしいステップを踏まれていることに情熱を

感じます。)放射線分野という共通の視点がある以上、様々な意見交換ができる場があるとありがたいなと感じています。

- ・会の目的に沿い、これまで硬軟併せて立派な活動をしてきたと思います。とりわけ、この間リードされた三役の行動力には、敬意を表したいと思います。ただ、活動が立派すぎて“敷居が高い”と感じる方が多いのでは?と懸念を持ちます。
- ・放友会の存続及び発展をお祈り申し上げます。
- ・非常に頑張っていると思います。心から応援しています。
- ・活動内容としては、申し分ないものがあると思っています。しかし、多くの会員や会員外の皆さんに、その真意がほぼ伝わっていないと思われます。なので、大勢の方が魅力を失って退会してしまったり若い人から認知されていない感じがします。と言って明確な打開策もなくて、申し訳ありません。もっと評価されてよいと思うのですが。
- ・再任用時(定年後)の現状を知りたい。
- ・本会創立の趣旨、公益財団法人神奈川放射線技師会と車の両輪として積極的に活動する役割は終えたのでは・・・
- ・本会の目的である、「憩いの館」今一度具体的に見直しされては・・・
- ・会員の懇親を深めるイベント企画、アサヒビール工場、大磯散策等は良い思い出として記憶に残っている
- ・東日本大震災を契機とした活動(食と放射線、原発見学)は素晴らしいと思う。もう十分では・・・
- ・全都道府県技師会での「範」たる活動だと受け止めています。
- ・良い特集号でした。
- ・10年継続していることは大変すばらしい事と思います。出版事業を始め、色々な事業を企画されてこられたことに敬意を表します。役員の皆様大変お疲れ様です。これからもできるだけイベントに参加したいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・10年を振り返ってみて、良かったことは明朗会計であったことだと思います。
- ・ホームページの温故知新は、素晴らしい言葉で、人生100歳時代を見据えた、活動ができればと思いました。

設問 5. 活動評価 & 意見 についての執行部の見解

・放友会の評価について

回答された会員からは概ね、良い評価だと考えられています。執行部はいつも「放友会はどうあるべきか」を考えておりますので、忌憚のない意見をお寄せください。

・会員の増加方法について

多くの意見をいただき感謝します。発足後11年を経過すると「神奈川放射線友の会」の存在を知らない方もいますので、広報に力を入れ、会員増加対策を検討します。

・神奈川放射線技師会との関わりについて

AI(人工知能)やロボット工学の導入により、社会も医療も大きな変革が始まり、放射線技師も放射線医療の新たな展望が必要になります。

今後も神奈川県放射線技師会や地域放射線技師会と協議、協力して、県民に対し、正しい放射線・放射能の知識の普及と啓発に努力します。

・事業活動について

会員の参加に無理な負担がかからないような事業企画を心掛け、会員が参加しやすい曜日に開催することも検討します。

以上